

クラスター	炎症・免疫系クラスター		
授業科目名	癌免疫学・実習		
担当者名	責任者 田中 正光	分担者 南谷 佳弘	
単位数	1単位(選択)	配当年次	1年次
授業形態	講義	実施場所	授業計画の[実施場所]を参照
開講期間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します		
開講曜日・時間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します		

#### 授業の概要・到達目標

授業の目的:腫瘍に対する生体の免疫応答と、腫瘍による免疫抑制のメカニズムに関して学ぶ。

授業の到達目標:腫瘍免疫に関連する基礎と、最近のトピックスを知る。また、マクロファージや好中球などが、腫瘍の進展にどのように関わるのか理解する。

#### 授業の概要:

- マクロファージの極性と腫瘍随伴マクロファージの成り立ちについて理解する。
- 腫瘍随伴マクロファージの腫瘍免疫に対する作用について理解する。
- 腫瘍関連好中球の生物特性について理解する。
- 腫瘍における免疫チェックポイントの基礎的な知識を得る。
- 肺癌に対する免疫治療について理解する。
- 免疫チェックポイント阻害薬の使い方について知識を得る。.

#### 授業計画

	講義題目 (講義内容)	担当教員	講座名 [実施場所]
1	腫瘍マクロファージの特性(I)	田中 正光	分子生化学 [講座研究室]
2	腫瘍マクロファージの特性(II)	田中 正光	
3	腫瘍関連好中球の特性	田中 正光	
4	免疫チェックポイントの基礎	田中 正光	
5	肺癌に対する免疫治療(I)	南谷 佳弘	胸部外科学 [講座カンファレンスルーム]
6	肺癌に対する免疫治療(II)	南谷 佳弘	
7	免疫チェックポイント薬の種類と使い方	今井 一博	

#### 授業形態および成績の評価方法・基準

講義室(研究室)での講義30時間+自学自習15時間、計45時間で1単位とし、評価は出席状況と口頭試問および筆記試験の結果、提出したレポートの内容を考慮して行う。

#### 問い合わせ先(氏名、メールアドレス等)

田中 正光, mastanak@med.akita-u.ac.jp

#### その他特記事項

履修に関する情報:社会人大学院生など、勤務等で実習に出席できない場合には日程の調整に応じます。

教科書・参考文献:必要に応じて資料を配付する。または、文献を指定する。

自学自習時間における学習内容:到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。